



宮司プレス第四百四十二

彦島八幡宮 宮司 ニュース

発行者 彦島八幡宮

宮司 柴田 宜夫

発行 平成三十一年 三月 二十日

◇宮司の柴田です。 春という漢字の甲骨文字（こうこつもじ）は、桑の芽が伸びきった形を表（あらわ）しているそうです。 三月のことを「弥生（やよいい）」というのも、草木の息吹（いぶき）が、勢いづく、「草木、いやよいづき」からきているのでありまして、そのように、庭の梅も少し花を咲かせたよう、「春はきにけり」の昨今です。 歳末から、様々な行事に、「平成最後の」という冠（かんむり）が、つけられるようになりましたが、それもそのはず、いよいよ、今上陛下（きんじょうへいか）におかせられますは、光格天皇以来二百年振りとなる御譲位（ごじょうい）で、五月一日より改元（かいげん）です。 平成も、余すところ、一月と十日となりました。 私の宮司プレス、本日発行の運びとなりましたが、本号が、平成最後の発行にならないようにしないといけません。 それでなくても、二月の発行はお休みとなり、約二ヶ月ぶりの発行、季節とは裏腹に、なかなか発行のスピードが、勢いづかないようであります。 毎月順調に発行を続けていれば、百五十四号の発行ということになりますので、

とうとう遅れの累積（るいせき）も一つ積み上げてしまい、十二ヶ月遅れの発行です。 お待たせしました宮司プレス百四十二号の発行です。 ◇遺伝子研究の第一人者である村上和雄先生は、「人間の全遺伝子情報（ゲノム）の差は、ノール賞をもらう天才と普通の人とを比べると、僅（わず）か〇・五パーセントの差しかない。 ゲノムレベルで見れば、人間は九十九・五パーセント同じである」とおっしゃっています。 実は、論語にも、「性相近（せいあいちか）し、習（なら）い相遠（あいとお）し」とあります。 人の性は生れた時にはあまり差はないが、長（ちよう）じて異（こと）なってくるのは、習慣のためであるということです。 福沢諭吉（ふくざわ ゆきち）さんは、「家庭は習慣の学校である」と「学問のすすめ」に書かれています。 村上先生のおっしゃる、〇・五パーセント、論語の「習い」、さらに、福沢諭吉さんのいわれる家庭が、人間の使命や個性をつくり上げていてのではないのでしょうか。

◇民俗学者の柳田國男（やなぎだ くにお）さ

んは、「敬神（けいしん）は日本人の道徳」と仰（おっしゃ）いました。 言いかえるならば「敬神は、日本人の習い」ではないでしょうか。 ◇私共は、日々の暮らしのなかで、「食べるもので体がつくられ、聞いた言葉で心がつくられ、発した言葉で未来がつくられる」そうです。 すべて、自分が選んでいるわけですから、不満ばかり言っても未来が明るくなるわけではありません。 「天然の無常」である大自然のなせる災害に、我々は無力でありますから、今ある命に感謝をし、お陰様でという謙虚な気持ち忘れず、まさに、「朝に祈り、夕べに感謝」という敬神という日本人の道徳、日本人の習いです。 さらに、私たちは生きるために必死に毎日を過（こ）し、様々な困難を乗り越えなくてはなりません、そのためには、やはり、知恵をだしあう、創意工夫が必要です。 そして、「人事を尽くして天命を待つ」ではありませんが、「神様がお守りくださり、きつとよくなる」という希望という「神信心」を持ち続け、その希望を共有する仲間とのつながりを深めてゆくと、その生活こそ、「敬神生活」なのです。 「神道」というのは人々日用の間にあり、神道は、祭典神事の奉仕だけではなく、日々の暮らしのなかにあるのです。 「人々日用」である「感謝、謙虚、工夫、希望」という四Kの「日本人の習い」といふべき敬神生活を心掛けたいものです。

◇一月の祭典行事報告

▼歳旦祭 *一月一日

□本宮、田の首八幡宮、福浦金刀比羅宮
貴布禰神社

▼元始祭 *一月三日

▼会社安全祈願祭参拝 *一月三日〜八日

▼下関市倫理法人会参拝 *一月九日

▼下関市中央倫理法人会参拝 *一月十日

▼六連島八幡宮初籠り *一月十一日

▼どんど焼き *一月十四日

▼月次祭 *一月十五日

▼養殖わかめ火入式 *一月十七日

▼朝粥会 *一月二十一日

◇一月の宮司の行事会議等活動報告

▼八幡宮関係団体

◆早起会新年会 *一月六日

◆田の首八幡宮新年会 *一月十三日

◆維蘇志会新年会 *一月十四日

▼山口県神社庁、同下関支部関係

◆山口県神社総代会役員会 *一月二十二日

◆山口県神社庁参互顧問会 *一月二十二日

▼下関支部新年総会 *一月二十五日

▼下関西ロータリークラブ

◆例会 *一月九日、三十日

◆理事会 *一月九日

▼人権擁護委員活動

◆人権相談業務に従事 *一月三十日

◆人権研修 *一月三十日

▼自治会活動

◆役員会 *一月十六日

▼教誨活動、美祢社会復帰促進センター

◆集合教誨(女子)、集合教誨(男子)

*一月二十八日

◇二月の祭典行事報告

▼月次祭

*二月一日、十五日

▼節分祭 *二月三日

▼建国祭 *二月十一日

□本宮 午前十時

□下関市 午後二時二十分

▼初午祭

□福浦稻荷神社 *二月十日

□下関三井化学(株) *二月十四日

□彦島製錬(株) *二月二十六日

▼祈年祭

□本宮 *二月十七日

□六連島八幡宮 *二月二十五日

□田の首八幡宮 *二月二十七日

▼横浜ダイエヌエーベイスターズ下関ファン集いの会参拝 *二月二十三日

※TYSテレビ山口、毎日新聞、朝日新聞

山口新聞、読売新聞取材

▼天皇陛下御即位三十年奉祝祭

*二月二十四日

◇二月の宮司の行事会議等活動報告

▼八幡宮関係団体

◆神道会世話人会 *二月十六日

◆彦島八幡宮リーグ監督会議

*二月十九日

▼山口県神社庁、同下関支部関係

◆山口県神社庁下関支部幹事会

*二月七日

◆下関市建国祭反省会 *二月十一日

◆御代替対策委員会 *二月十二日

◆山口県神社庁役員会 *二月十二日

◆山口県神社庁支部長事務局長会議

*二月十三日

◆山口県神社庁例祭 *二月十三日

◆山口県神社庁教学研究部研修会

*二月二十五日(住吉神社)

◆山口県神社庁教 講師会祭典後講話研修会

*二月二十六日(周南市、山崎八幡宮)

▼自治会活動

◆迫町防災訓練 *二月二十八日

▼教誨活動、美祢社会復帰促進センター

◆新入時指導講話(女子) *二月二十日

▼その他

◆西山小CSあいさつ運動 *二月八日

◆西山小CS運営協議会 *二月二十日

◆西山小感謝の集い *二月二十八日